

令和7年度事業報告書

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

公益財団法人文化財虫菌害研究所

1 講座・セミナー育成事業

令和7年度は、博物館・美術館・図書館・民俗資料館等の学芸員、一般の文化財保存管理者、それらに携わる生物被害防除の技術者等を対象とした研修等を、さらに「文化財虫菌害防除作業主任者」・「文化財 IPM コーディネータ」資格取得に関わる講習と試験を行った。文化財分野で広く使用されてきた燻蒸剤の製造販売が中止となったことを受け、研修等では虫菌害の発生状況を把握することや予防対策、発生しているものの防除措置の方法について周知させてきた。

発行物として、機関誌「文化財の虫菌害」のほか、資格取得に関する書籍の発行、文化財 IPM 関連のパンフレット関連の作成、増刷を行った。機関誌の発行部数は、各号約 700 部（頁数 50 頁）。会員には無償で配付し、会員以外には有償で販売した。また、生物被害を発見した際に講ずるべき対策を整理するために用いる「フローチャート式」の資料を必要な時に入手できるようウェブサイトからダウンロードでききるよう登載した。

広報活動として、ウェブサイトでの事業活動の情報発信、他団体の機関誌等への広告掲載、寄稿を積極的に行った。その他、他団体主催の研究会等への講師参加の機会が多くあった。

(1) 研修会・講習会事業

(ア) 文化財の虫菌害・保存対策研修会

時期 令和7年7月1～31日

場所 Web セミナー方式

参加者 162名

(イ) 文化財防虫防菌処理実務講習会

時期 令和7年10月14日、15日

場所 飯田橋レインボービル中会議室

参加者 68名

(ウ) 文化財 IPM コーディネータ資格取得のための講習会と試験

時期 講習会 令和7年12月9日、10日、

試験（郵送方式）令和7年12月10日～令和8年1月14日

場所 講習会 飯田橋レインボービル大会議室

参加者 164名（うち、資格更新のための受講者 20名）

受験者 143名、合格者 141名

(エ) 文化財の虫菌害防除作業に関する講習会と作業主任者能力認定試験

時期 令和8年3月3日～5日

場所 家の光会館コンベンションホール

参加者 受講者 80名

受験者 新規 54名、更新 14名

合格者 新規 48名、更新 13名

(2) 図書・資料刊行事業

(ア) 機関誌の刊行

「文化財の虫菌害」 No.89 (6月)

巻頭言 ポスト・エキヒューム S の生物被害対策を考える

報文 屋外型家屋害虫の種類と侵入経路 (3)

昆虫の生態に基づいた総合的有害生物管理 (IPM) の重要性

練馬区立石神井公園ふるさと文化館の虫害防除対策と「シャッター隙間対策ブラシ」活用事例の紹介

ゼロから始める昆虫同定

講座 文化財用燻蒸剤「エキヒューム S」販売終了後の殺虫あるいは殺菌処理および有害生物対策に係わる注意点

こらむ コウモリガについて

書評 文化財保存環境学 第3版

「文化財の虫菌害」 No.90 (12月)

巻頭言 文虫研の70年

報文 博物館における ATP 測定の実用とその特徴

ニューハクシミへの対策を含む北海道博物館における文化財 IPM の取組

埼玉県立歴史と民俗の博物館における総合的有害生物管理 (IPM) について

ゼロから始める昆虫同定 (2)

講座 シロアリ用防除剤 (液剤) を文化財に用いる際の注意点

こらむ チャタテムシについて

学校の教室にいたヒメカツオブシムシ

(イ) 文化財の虫菌害防除に関する専門的な図書・資料

①文化財の虫菌害防除と安全の知識 2025年 (増刷)

②文化財の殺虫・殺菌処理標準仕様書 2025年版 (増刷)

(3) 資格者数

(ア) 文化財虫菌害防除作業主任者資格保有者数 878名

(イ) 文化財 IPM コーディネータ資格保有者数 1,231名

(4) 広報活動および他団体主催事業への参加

(ア) 広報活動

①公益財団法人日本博物館協会 機関誌等への広告掲載

②全国美術館会議 機関誌への広告掲載

③文化財保存修復学会 機関誌への広告掲載

(イ) 講師派遣

①令和7年10月31日 令和7年度行政文書・古文書保存管理講習会 (広島県)

「文化財用燻蒸剤の変容に伴う IPM 実践の変化」 講師 岩田泰幸

- ②令和 7 年 12 月 5 日 令和 7 年度千葉県史料保存活用連絡協議会研修会
「IPM に基づく生物被害対策の再考について」 講師 岩田泰幸
- ③令和 8 年 1 月 9 日（つくば分館）、21 日（東京本館）
国立公文書館における「生物被害対策の見直しに関する有識者ヒアリング」
講師 岩田泰幸
- ④令和 8 年 2 月 18 日 令和 7 年度秋田県博物館等連絡協議会実務担当者研修会
「文化財 IPM に基づく生物被害対策の再考と手法の選択について」
講師 岩田泰幸
- ⑤ 令和 8 年 2 月 27 日 千葉県博物館・美術館等職員向けの研修
「IPM の基本的な考え方や虫菌害発生時の対応手順について」講師 岩田泰幸

(ウ) 寄稿

- ①公益財団法人日本博物館協会「博物館研究」 第 60 巻 10 号
「エキヒューム S」販売終了後の殺虫殺菌処理等の検討に際しての注意点」
執筆者 岩田泰幸
- ②「LISN」（リスン）図書館情報誌 207 号 2026 年 3 月発行
特集「図書館の周辺環境を考える（仮題）」における「図書館などの施設外周の
有害生物対策」
執筆者 岩田泰幸
- ③「広文協通信」第 49 号 2026 年 3 月発行
文化財用燻蒸剤の変容に伴う IPM 実践の変化（10/31 講演内容）
執筆者 岩田泰幸
- ④坂の上の雲ミュージアム通信「小日本」50 号 2026 年 3 月 31 日発行
博物館をめぐる文化財虫菌害対策・IPM 活動の昨今の状況等について、研究所の
紹介 執筆者 三浦定俊
- ⑤公益財団法人日本博物館協会「博物館研究」 第 61 巻 4 号
「文化財用燻蒸剤『エキヒューム S』の認定取消について」
執筆者 岩田泰幸
- ⑥東京文化財研究所フォーラム「ポスト・エキヒューム S の資料保存を考える」
文化財 IPM を推進する上で有効な資格および生物被害対策への生かし方
執筆者 岩田泰幸

2 調査・指導・研究事業

令和 7 年度の生物被害調査について、文化財等の保管・管理施設へ職員が出向く調査件数は従前どおりで大きな変化はしていないが、「調査セット」による調査は昨年度対比では件数がやや減少した。

文化財の虫菌害防除のための殺虫・殺菌処理効果の判定業務の状況については、文化財分野で広く使用されてきた燻蒸剤の製造販売が中止となった影響を受け、前年度と比較すると対象館の件数、供試虫等の数量が減少した。

(1) 文化財等に対する虫菌害防除に関する調査・指導事業

(ア) 総合環境調査 8 件

- ①すみだ北斎美術館（東京都墨田区）

- ②武蔵野美術大学美術館・図書館（東京都小平市）
- ③松岡美術館（東京都港区）
- ④さいたま市大宮図書館（埼玉県さいたま市大宮区）
- ⑤東京都庭園美術館（東京都港区）
- ⑥平塚市美術館（神奈川県平塚市）
- ⑦豊田市博物館（愛知県豊田市）
- ⑧宮城県美術館（宮城県仙台市青葉区）

(イ) 調査セットによる虫・カビ被害調査

- ① 昆虫調査セット 4件
- ② カビ調査セット 8件

(2) 虫菌害防除のための処理（燻蒸等）の効果判定事業

(ア) 燻蒸処理効果判定業務	対象館（発送件数）	775 館
供試虫		3,487 本
供試菌		1,832 枚
殺虫処理効果判定書		955 通
殺菌処理効果判定書		594 通

(イ) 燻蒸受託 1件

3 検査・検定事業

令和7年度は1薬剤の新規登録があり、薬剤・器材を合わせては32種となった。
また、登録中の2薬剤について、登録申請者の事業継承による変更があった。

(1) 登録

申請者 住化エンバイロメンタルサイエンス株式会社
 薬剤名 ガントナー天然ピレトリン MC
 登録番号 第45号
 登録年月日 令和7年10月16日
 薬剤種別 土壌処理剤

(2) 変更

事業の継承により、次の2剤の登録を変更した。
 第40号「アリピレス ME2」
 第41号「アリピレス木部乳剤 20」

変更前

申請者 エフエムシー・ケミカルズ株式会社

変更後

申請者 エンバイロサイエンスジャパン株式会社

変更日 令和7年11月25日

4 理事会、評議員会、委員会関係

令和7年度に開催した理事会、評議員会、委員会は次のとおりである。

理事会は、第1回は書面による決議、第2回は対面で開催した。評議員会は第1回、2回ともに書面による決議を行った。

各委員会の開催状況は、次のとおり。「文化財 IPM コーディネータ委員会」では、「文化財 IPM コーディネータ資格取得試験」の可否の判定のための審査を、「文化財虫菌害防除作業主任者能力認定委員会」では、「文化財虫菌害防除作業主任者資格取得試験」および「文化財虫菌害防除作業主任者登録更新試験」の可否の判定のための審査を書面で行った。

(1) 理事会

第1回 書面による決議 令和7年5月1日

議題

- 1) 令和7年度第1回評議員会の開催について
- 2) 令和6年度事業報告および収支決算報告について
- 3) 「文化財虫菌害防除作業主任者能力認定委員会」の委員の選任について
- 4) 代表理事および業務執行理事の職務執行状況報告について

第2回

日時 令和8年2月3日(火) 13時30分から15時30分

場所 飯田橋レインボービル 1階 B会議室

議題

- 1) 令和7年度第2回評議員会の開催について
- 2) 令和7年度の事業状況の報告
- 3) 令和8年度事業計画および収支予算について
- 4) 令和6年度事業報告における正味財産増減計算書の訂正の承認について
- 5) 「文化財虫菌害防除薬剤等認定委員会」委員の選任について
- 6) 「文化財虫菌害防除薬剤等認定規程」の改定について
- 7) 業務執行状況報告
- 8) その他

(2) 評議員会

第1回 書面による決議 令和7年5月19日

議題

- 1) 令和6年度事業報告および収支決算報告について
- 2) 「文化財虫菌害防除作業主任者能力認定委員会」の委員の選任について

第2回 書面による決議 令和8年2月27日

議題

- 1) 令和7年度の事業状況について
- 2) 令和8年度事業計画および収支予算について
- 3) 令和6年度事業報告における正味財産増減計算書訂正の承認について
- 4) 「文化財虫菌害防除薬剤等認定委員会」委員の選任について
- 5) 「文化財虫菌害防除薬剤等認定規程」の改定について

6) 自立的ガバナンスの強化に関する取り組みについて

(3) 文化財虫菌害防除薬剤等認定委員会

令和7年度第1回文化財虫菌害防除薬剤等認定委員会

日時 令和7年7月1日(火) 13時30分から15時30分

場所 飯田橋レインボービル 2階 小会議室

議題

文化財虫菌害防除申請薬剤について

「ガントナー天然ピレトリンMC」について

(申請者 住化エンバイロメンタルサイエンス株式会社)

(4) 文化財 IPM コーディネータ委員会

令和7年度第1回文化財 IPM コーディネータ委員会

書面による決議 令和8年1月22日

議事 第14回文化財 IPM コーディネータ資格取得試験の合否判定について

(5) 文化財虫菌害防除作業主任者能力認定委員会

令和7年度第1回文化財虫菌害防除作業主任者能力認定委員会

書面による決議 令和8年3月19日

議事

1) 第47回文化財虫菌害防除作業主任者能力認定試験の合否判定について

2) 令和7年度文化財虫菌害防除作業主任者資格登録更新試験の合否判定について

6 会員

令和7年度末の会員登録者数は228社(個人含む)である。会員数に大きな変動はないが、年々、減少傾向にある。

内訳は、次のとおりである。

・普通維持会員(甲)：博物館、美術館、寺社、大学図書館等	50
・普通維持会員(乙)：個人	58
・特別維持会員(甲)：防除会社等	107
・特別維持会員(乙)：薬剤メーカー等	10
・賛助会員	：薬剤メーカー等 1
・機関誌購読会員	：輸送会社、大学図書館 2